

報道関係各位

筑波大学附属病院

「つくば臨床医学研究開発機構」を筑波大学に設置

T-CReDO : Tsukuba Clinical Research & Development Organization

筑波大学は、学内および筑波研究学園都市を中心とする産官学の研究機関の研究成果（シーズ）の臨床応用（実用化）に向けた支援を強化するために「つくば臨床医学研究開発機構（T-CReDO）」を平成 27 年 6 月 1 日附属病院内に設置しました。本機構では以下の事業を行います。

- 1) 医療シーズの開発戦略相談、シーズ育成と臨床開発
- 2) 市販後の臨床上有用な知見を得るために行う臨床研究の実施
- 3) 医療技術の開発を目指す若手研究者の育成、臨床研究に関わる研究者の生涯教育

本機構では、学内の既存の組織（附属病院の臨床研究推進・支援センター、未来医工融合研究センター、医学医療系の次世代医療研究開発・教育統合センター）を統合再編して機能強化を図るとともに、研究マネジメントや信頼性保証等の部門を設置し、ガバナンス体制を確立しました。

研究成果の実用化には、出口を見据えた研究開発戦略が必須であり、本機構では、知財や研究資金の獲得や人材育成も含めて包括的に支援していきます。

【設置の背景】

筑波研究学園都市には産官学の多くの研究所があり最先端の研究が行われており、創薬や医療機器開発に結びつくシーズもたくさん研究されています。また、研究所間および研究者間の活発な連携活動も行われています。しかし、実用化に至ったものは多くはないといわれています。

医薬品・医療機器の開発には、国のガイドラインに則って臨床試験を行い、厚労省に申請する必要があります。その過程では、データ管理や生物統計家等の多くの専門家の関与が必要になります。

しかし、つくばには、研究成果を臨床応用し実用化するまでを導くための窓口や支援体制が整備されていませんでした。また、研究シーズから製品化するまでのマインドを持った研究者の育成体制も十分には整備されていません。

そこで、附属病院と医学医療系が母体となり、筑波大学内のみならず、筑波研究学園都市全体を対象とし、窓口機能、コンサルテーション機能、実務支援機能などの基盤を整備し、研究者に必要なノウハウや支援を提供し、実用化を促進するための支援組織を設けることにしました。

【期待される効果】

起業家や研究者の育成と実用化支援の相乗効果により、革新的医薬品・医療機器を継続的に創出されることが期待されます。本機構は、国民の健康福祉の上だけでなく、医療技術産業を育成することが期待されるため、医療技術における国際的研究開発・ビジネス拠点として、日本の成長戦略の上で重要な位置付けとなります。

【今後の計画】

6月1日に機構を設置し、学内外の関連組織とのシーズ開発に関する連携や起業家育成プログラム等について年度内を目標に整備を行っています。また、従来より実施しています治験や臨床研究の実施の支援も行っています。臨床開発に係る人材（モニター、臨床研究コーディネーター等）の募集もしていますので、お気軽にお問い合わせください。

【開設記念講演会】

機構の開設を記念して、以下のとおり開設記念講演会を開催します。報道関係者の皆様にもご取材いただきたく存じますので、希望される場合には、事前にご連絡をお願いします。

つくば臨床医学研究開発機構（T-CReDO）開設記念講演会

日時：7月6日（月）18時-20時

場所：筑波大学 臨床講義室A（医学エリア）

http://www.tsukuba.ac.jp/access/map_west.html

【問い合わせ先】

筑波大学附属病院 つくば臨床医学研究開発機構

担当：武石

TEL：029-853-3914、FAX：029-853-5669

E-mail：t-credo.adm@un.tsukuba.ac.jp

※ホームページは現在構築中です。

<http://www.hosp.tsukuba.ac.jp/clintrial/TCReDO.html>